

煙と兄弟

小川未明

青空文庫

うすぐもりのした空を、冷たい風が吹いていました。少年は、お母さんの、針仕事^{はりしごと}をなさる、窓のところで、ぼんやり、外の方をながめていました。もはや、木の葉がうすく色づいて、秋もふけてきました。

「さつきから、そこで、なにを見ているの。」と、お母さんが、少年のようすに気がついて、聞かれました。

「ぼく、煙を見ていたの。」

お母さんは、ちよつと手を止めて、その方を見ると、となりの家の煙突から青白い煙が上つていました。

「お風呂の煙でしょう。」

それは、少年にわかつていました。彼は、それを知らなかったのでありません。

「そうじゃないの。先に出た煙が、あとからくる煙をまっついて、いつしよに空へ上がるうとする、いじわるい風が吹いて、みんな、どこへかさらっていくのだよ。だって、同じ木から出た兄弟だろう。かわいそうじゃないか。」と、少年は、いいました。お母さんは、しばらく、煙を見ていました。人間にたとえれば、手をとり合つて、お

ぼつかなく、遠い道をいくようです。

「そう考えるのが、正しいのですよ。どこの兄弟も、やさしいお母さんのおなかから生まれて、おなじ乳をのんで、わけへだてなく育てられたのです。それを大きくなつてから、すこしの損得で、兄弟げんかをしたり、たがいにゆききしないものがあれば、また中には、大恩のある、母親をきらつて、よせつけないものがありますから、世の中は、おそろしいところですね。」と、なにか深く感じて、こういった、お母さんの目には、光るものがありました。このとき、

「ぼくは、そんな人間に、ならないよ。」と、少年はお母さんのひぎに、とびつき

ました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 14」講談社

1977（昭和52）年12月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「太陽と星の下」あかね書房

1952（昭和27）年1月

※表題は底本では、「煙《けむり》と兄弟《きょうだい》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2019年2月22日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

煙と兄弟

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>